

(第1回変更) 契約変更の内容

契約変更年月日	平成 31年 6月 5日
契約業者名	(一財) 阪神高速道路技術センター
契約業者の住所	大阪府大阪市中央区南本町4-5-7
業務の名称	阪神高速道路構造物の維持管理に関する調査研究業務(平成30年度)
業務場所	阪神高速道路(株)の指定する場所
業務種別	土木設計
業務概要	本業務は、阪神高速道路構造物の維持管理における設計・施工上の技術課題を抽出し、解決方法を検討するものである。検討にあたっては有識者による委員会を組織し、難易度の高い技術的課題に対して、委員会審議を行いながら進めていくものである。
業務期間(自)	平成 30年 9月 7日
業務期間(至)	平成 31年 9月 30日
契約金額	48,870,000 円
変更金額	18,824,400 円 増
変更後の契約金額	67,694,400 円
変更理由	別紙のとおり

※金額は、税込みである。

変更契約理由書

阪神高速道路構造物の維持管理に関する調査研究業務（平成30年度） 第1回変更

・RC 床版および鋼床版に係る大規模修繕工事の設計施工手引きの作成について、それぞれの検討に時間を要し、業務期間内に取りまとめることが困難となったため、本業務から削除し数量を減じる。

・FEA による設計高度化検討を進める中で、解析の再現性の確保のために、FEA を用いた解析モデル化の留意点や応答評価の手法を取りまとめた技術資料の作成が必要となった。検討での知見も含めて資料の作成を行う必要があることから、本業務に追加。

・床版の応力度に関する解析的検討【追加】

プレテンション方式 PC 単純 T 桁の床版に関して、新設基準での活荷重条件に対する耐荷性能を解析的に評価する必要が生じた。本件等は、事業での設計判断に活用する知見を得るものであり、検討を急ぐため、追加。

・近接施工に関する解条件の検討【追加】

地下トンネル構築に係る阪神高速道路の既設構造物への近接施工の影響に関して、別途実施し提示される検討資料の技術的な課題の抽出や妥当性の評価を行う必要がある。本検討は、事業計画の判断に活用する知見を得るものであり、検討を急ぐものであるため、追加。

・高耐久型ポーラスアスファルト混合物の LCC を考慮した要求性能に関する検討【追加】

高耐久型ポーラスアスファルト混合物の要求性能や評価目標値の設定のために LCC 試算を基に評価を実施する。本検討は他機関と実施している共同研究に関連し検討を急ぐ必要があるため、追加。

・長期暴露試験体の防食性能の評価【追加】

東神戸大橋の路下に暴露中の各種の防食を施した試験体の防食性能の評価を行う。本検討は、他機関と別途覚書を結んで評価を進めている耐候性鋼材の防食評価に活用するものであり、覚書での成果とりまとめに関し検討を急ぐ必要があるため、追加。

・上記検討項目の追加に伴い、業務期間を延長。